



## 船井医師会

副会長 仁丹 利行

京都市内からJR嵯峨野線に乗り約40分、途中嵐山や保津峡溪谷の景観を眺めながら亀岡盆地を抜けるといよいよ南丹市です。車ですと京都縦貫自動車道、沓掛インターから約30分。そこから国道9号線で15分ほど北に走ると京丹波町に到着します。南丹市は平成18年に船井郡園部町、八木町、日吉町、北桑田郡美山町が合併し誕生しました。京丹波町は南丹市の北側に位置し、平成17年に船井郡丹波町、瑞穂町、和知町が合併しました。南丹市は3万3千人、京丹波町は1万4千人で合わせて人口4万7千人の地域ですが、面積は919万km<sup>2</sup>と広大で京都府全体の約20%を占めています。この広い地域を5つの病院（京都中部総合医療センター、明治国際医療大学付属病院、京丹波町病院、董会園部病院、丹波笠次病院）と21の診療所・医院でカバーしています。船井医師会は、昭和22年に42名の医師会員により船井郡医師会として創設され、平成4年より船井医師会となり現在に至ります。南丹市と京丹波町の医師会員で構成されており、会員数は60名でA会員29名、B、C会員31名と開業医と病院勤務医が半数ずつを占めています。隣接する亀岡市とともに京都中部医療圏を構成し、亀岡市医師会とは学術講演会や府医との懇談会等を共催しています。

活動内容は、健診事業、予防接種、在宅医療、介護保険、学校医、産業医、各種競

技会への医師派遣、救急災害医療など多岐にわたり、これを限られた会員の中で分担、兼務しながら行っています。最近の活動として、災害医療研修会、なんたん在宅医療連携研究会、多職種連携事例検討会などを定期的に開催し、今年度は子ども虐待対応の研修会と緩和ケアについてのセミナーを企画しています。在宅医療・介護サービスの充実のため地域の在宅医療マップを作成し活用しています。また昨年、府医の創立70周年に合わせて当医師会でも記念誌を製本いたしました。病院勤務医と開業医が身近に交流できる機会をつくるため、毎年秋に船井病診連携懇親会（通称グルメの会）を開催し、気楽に意見交換しながら「お互いの顔が見える」病診連携を目指しています。

### 船井医師会

〒622-0011  
京都府南丹市園部町小山東町平成台1号5-1  
高屋こども診療所  
TEL: 0771-68-1155 FAX: 0771-68-1150  
HP: <http://www.funai-ishikai.com/>  
e-mail: [fualo@cans.zaq.ne.jp](mailto:fualo@cans.zaq.ne.jp)  
会長: 高屋 和志  
会員数: 60人 (2019.11現在)

# 京 医

No.2162

令和元年12月1日

# 報 都 12.1

毎月2回（1日・15日）発行 購読料・年6,000円

2019  
December

## 令和2年度診療報酬改定の論点<その2>